

平成25年7月31日（水）こども環境体験ツアー「とよがわの源流」

行 程

市役所 → きららの森 → 豊川の源流付近 → 原生林探索 → きららの森 → 市役所

当日の様子



豊川市役所から、バスで約2時間をかけて、きららの森へ到着しました。小学生24名は、講師の先生から出発前に山道での注意などを聞いた後、2グループに分かれて「とよがわ」の源流を目指します。

道中は、植物を観察したり雲母を拾いながら進みます。



ツチアケビ→

←オニノヤガラ



←ヤマアジサイ



テンナンショウ→



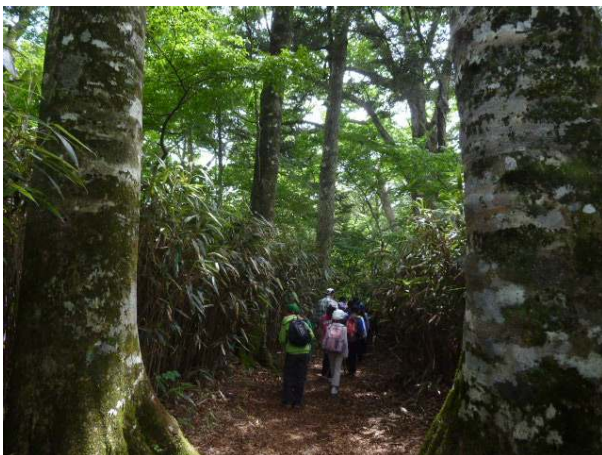


1時間ほど山を登り、源流へ到着。写真（左）が豊川の水源地です。

写真では分かりづらいですが、岩の間からポタポタと落ちています。ここから山間部を流れ、途中、宇連川をあわせ三河湾に注がれます。



帰りは行きと別のルートを取り、原生林の中を歩きました。原生林とは人の手の入っていない林のことで、ここには愛知県最大の表日本型のブナ林があります。その他モミ、ツガなどの常緑針葉樹やブナ、ミズナラなどの落葉樹が混生していました。



行きとは違い、険しい道が続きましたが、全員けがもなく下山することができました。

豊川の源流を見る機会はあまりないと思いますので、子供たちにとってよい経験になったのではないのでしょうか。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ ブナの木やヒノキの特ちょうを知ることができた。
- ・ 段戸から、いろいろな川に水が流れていることがわかった。
- ・ 豊川（とよがわ）の源流を見ることができた。
- ・ 山を登って、いろいろな生き物を見ることができてよかった。